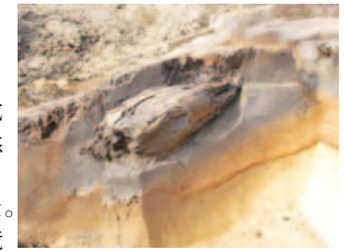
平成27年度刊行報告書

②白水Ｂ遺跡（鹿屋市）の埋没樹



発掘調査区内の傾斜地のかなり深い場所から，1本の木（長さ190cm，直径60cm，胴回り180cm）が発見されました。この木の年代や木の種類を調べるために，放射性炭素年代測定，樹種同定等の自然科学分析を行いました。その結果，今から約2,800年前の「センダン」の木で，湧き水の作用でできた沼地に入り込んだことがわかりました。このように保存状態のよい木材が出土することは珍しく，当時の環境を知る手がかりになることから，年輪年代測定や暦年較正の資料として国立歴史民俗博物館に提供されることになりました。

⑥町田堀遺跡（鹿屋市）の石刀

町田堀遺跡では縄文時代後期（約3,300年前）の竪穴住居跡から石刀が発見されました。長さは28.6cm，最大幅は約4cm，厚みは約1.7cmと平たく，わん曲した棒状で，両端部には直線と弧状を組み合わせた文様が刻まれています。

石刀の表面や，線刻の中には赤色や黒色の顔料が残っていました。自然科学分析を行った結果，赤色は水銀朱であることが，黒色は漆であることがわかりました。また，資料から，石刀に朱を塗布した後に黒色漆を塗布して製作したことも明らかになりました。

この石刀には刃がないことから実用的なものではなく，儀式や祭祀に使われたものと考えられています。

石刀の表裏写真と先端部の拡大写真

平成 27 年度刊行報告書一覧

番号	報 告 書 名	所在地	主な時代（報告書掲載分）	起因事業名
5	田原迫ノ上遺跡１	鹿屋市	縄文・弥生・古墳	東九州自動車道建設
6	天神段遺跡２	大崎町	縄文	東九州自動車道建設
7	町田堀遺跡	鹿屋市	縄文・弥生・古墳・古代	東九州自動車道建設
8	永吉天神段遺跡第１地点	大崎町	縄文・弥生・古墳・古代・中世	東九州自動車道建設
9	白水Ｂ遺跡	鹿屋市	旧石器･縄文･弥生･古墳･古代･中近世	一般国道２２０号古江バイパス建設
10	中郡遺跡群・中尾遺跡・前原遺跡	出水市	縄文・中世	南九州西回り自動車道建設

「いざ」というときに　－AED(自動体外式除細動器)－

近年，公共施設などの身近な場所でAED（自動体外式除細動器）を見かけるようになりました。AEDは突然の心停止を起こして倒れた人の生命を救うために，大変役に立ちます。

埋蔵文化財調査センターの発掘調査現場や整理作業所にも，AEDを設置しています。そして，職員は心肺蘇生法とともにAEDの使用方法について講習を受けています。いざというときに，すぐに，誰にでも使える準備をしています。

毎朝の健康観察など日頃の体調管理の他，正しい応急方法を熟知することで，これからも埋蔵文化財調査センターは『事故ゼロ』を目指して，発掘調査を行っていきます。

（公財）埋蔵文化調査センターのホームページは、上野原縄文の森（http://www.jomon-no-mori.jp）または、鹿児島県文化振興財団（http://www.houzanhall.com/zaidan/）「上野原縄文の森」からお入りください。

検索キーワード　上野原縄文の森　検索　クリック

～かごしまの遺跡～ 第11号
発　行　日　平成28年9月30日
編集・発行　（公財）鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センター
〒899-4318　鹿児島県霧島市 国分上野原縄文の森２番１号
TEL 0995-70-0574・FAX 0995-70-0575
URL：http：//www.jomon-no-mori.jp
E-mail：maibunchosa@tuc.bbiq.jp

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター

～かごしまの遺跡～

第11号　平成 28 年 9 月 30 日

平成 28 年度上半期発掘調査状況

⑦川 久 保 遺 跡

所 在 地：鹿屋市
調査期間：H28.5～H29.1
時　　代：旧石器～古墳，中世

川久保遺跡は，笠野原台地の北東縁辺部を流れる串良川右岸の標高30～40mの河岸段丘上に立地しています。調査は平成26年度から行い，これまでに旧石器時代の細石刃文化期（約14,000年前）や縄文時代草創期（約12,000年前）の遺物，縄文時代早期（約10,000～7,300年前）の集石や連穴土坑が発見されました。また，古墳時代（約1,400年前）の鍛冶関連建物跡や多数の竪穴住居跡，中世（鎌倉時代）の掘立柱建物跡群や，中国の様々な種類の古銭がまとまって18枚出土するなど，人々の営みがあったことがわかります。写真の橋脚部分は調整の結果，優先して発掘調査を実施し，終了後，その用地を国土交通省に引き渡しました。道路工事は調査と併行して計画的に進められています。

支援業務委託：（株）埋蔵文化財サポートシステム

遺跡名の○数字は，３頁の「遺跡位置図」の番号です。

平成28年度上半期発掘調査状況

①高野木遺跡

所 在 地：薩摩川内市
調査期間：H28.5（終了）
時　　代：中世・近世

川内川沿いの遺跡です。中世～近世の畑の畝間跡が発見されました。遺跡内は砂層のため，土の色の変化が見分けにくく，遺構検出が難しい調査でした。

③萩ヶ峯A遺跡

所 在 地：鹿屋市
調査期間：H28.5～H29.2
時　　代：縄文・古墳

発掘調査は，昔の地形に合わせて掘削します。遺跡内には，浅い谷が入っており，足場が悪いため困難な調査です。この谷部からは，縄文時代晩期の土器がまとまって出土しました。

⑤田原迫ノ上遺跡

所 在 地：鹿屋市
調査期間：H28.5～Ｈ29.2
時　　代：縄文～古墳・近世

残っていた現道部分と電柱撤去跡の調査を行っています。大型土嚢で，崩れそうな調査区際を補強し，調査を進めています。

⑥町田堀遺跡

所 在 地：鹿屋市
調査期間：H28.5～Ｈ29.2
時　　代：縄文～古代

笠野原台地の北東縁辺部にある縄文時代～古代の遺跡です。南九州特有の地下式横穴墓が今回の調査でも発見されました。現道を通行止めにして，調査を進めています。

⑧小 牧 遺 跡

所 在 地：鹿屋市
調査期間：H28.5～H29.1
時　　代：縄文～中世

終了期限を迎える一部区域について，安全に人員を集中させて掘り下げるとともに，測量を同時平行で進めました。寒冷紗を設置して熱中症対策を行いながら調査を進めています。

支援業務委託：新和技術コンサルタント（株）

⑩春日堀遺跡

所 在 地：志布志市
調査期間：H28.5～H29.1
時　　代：縄文～中世

縄文時代早期（約9,500 年前～約 7,800 年前）の集石や連穴土坑がみつかっています。地層の観察を慎重に行いながら，遺構の調査を進めています。

支援業務委託：国際文化財株式会社

⑪小牧古墳群

所 在 地：志布志市
調査期間：H28.5～H28.10
時　　代：縄文・近世

台地上に立地する遺跡ですが，周囲に崖などがあるため，条件整備はなかなか思うようにいきません。特に，排水処理には苦労しています。

支援業務委託：大福コンサルタント（株）

⑫見 帰 遺 跡

所 在 地：志布志市
調査期間：H28.5 ～ H28.9（終了）
時　　代：旧石器・縄文

見帰遺跡は，起伏に富んだ地形をしています。地形の傾斜と夏の熱射と戦いながら調査を進めています。

支援業務委託：（株）イビソク

整理作業 ④立小野堀遺跡

所 在 地：鹿屋市
調査期間：H28.4～H28.7（終了）
時　　代：古墳

遺物撮影風景

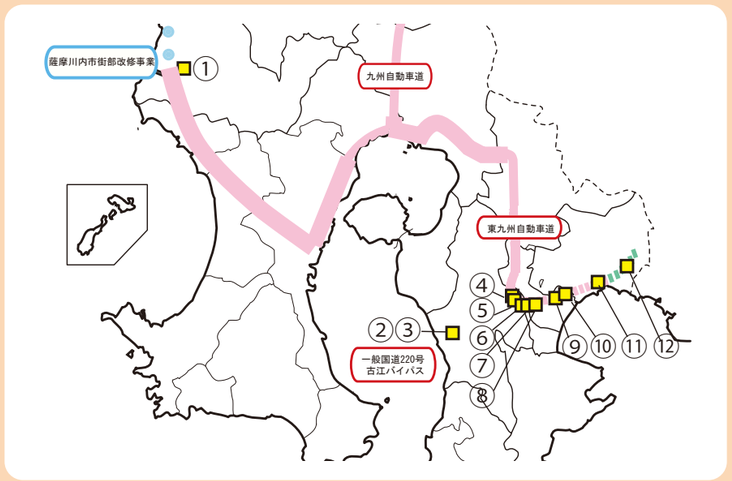
南九州独自の地下式横穴墓が，県内で最も多い190基確認され，鉄製の刀や剣，鏃，青銅製の鈴や，細かく砕かれた土器なども多数出土しました。

整理作業 ⑨平良上C遺跡

所 在 地：曽於郡大崎町
調査期間：H28.4～Ｈ28.12
時　　代：縄文

指導者招聘風景

石器の指導者を招き，器種や分類方法等の指導を受けました。現在は発掘調査報告書の刊行に向け，復元・実測・トレース等の作業を行っています。

遺跡位置図

① 高野木遺跡
② 白水Ｂ遺跡
③ 萩ヶ峯Ａ遺跡
④ 立小野堀遺跡
⑤ 田原迫ノ上遺跡
⑥ 町田堀遺跡
⑦ 川久保遺跡
⑧ 小牧遺跡
⑨ 平良上Ｃ遺跡
⑩ 春日堀遺跡
⑪ 小牧古墳群
⑫ 見帰遺跡